MOSTRA INTERNAZIONALE D'ARTE CINEMATOGRAFICA
LA BIENNALE DI VENEZIA 2023
Official Selection

第80回
ヴェネチア国際映画祭
コンペティション部門正式出品

第68回
バリャドリッド国際映画祭
最優秀女優賞受賞

恐れは、伝播する

レア・セドゥ　　ジョージ・マッケイ

けものがいる
La bête

鬼才ベルトラン・ボネロ監督　　共同プロデューサー グザヴィエ・ドラン

監督・脚本・音楽：ベルトラン・ボネロ『SAINT LAURENT サンローラン』ヘンリー・ジェイムズ「密林の獣」を自由に翻案
出演：レア・セドゥ『デューン 砂の惑星 PART2』、ジョージ・マッケイ『1917 命をかけた伝令』、ガスラジー・マランダ『サントメール ある被告』、グザヴィエ・ドラン（声）『マティアス&マキシム』
2023年／フランス・カナダ／フランス語・英語／ビスタ／5.1ch／字幕：手束紀子／146分　配給：セテラ・インターナショナル

近未来、人間は〈感情の消去〉を余儀なくされていた── 100年以上の時を超え、転生する女と男の愛と運命をスリリングに描く

AIに管理された未来で、あなたは愛に飢えた「けもの」に出会う。
あなたの心の中にいる「けもの」に。
葦沢かもめさん（SF作家・慶應SFセンター研究員・AIエンジニア）

異なる時空で繰り返される逢瀬、そこで映像の詩というべき、
美しい構図と色彩による鮮烈な場面の数々を目撃する。
五十嵐太郎さん（建築評論家）

素直になれず、感情を表せず、
待ち続けたけものが走る荒野はあるのだろうか。
監督が作曲したスコアが我々の心を試しているようだ。
ニコラス・ローグの映画のように
鮮やかに区切られていく時間にただ身を任せてください。
石橋英子さん（音楽家）

ひとは映画に感情を委ねる。
けものはそれを外からじっと視ている。
岸裕真さん（アーティスト）

構成力が際立つが、映画を成立させているのは、
やはり役者の演技力だ。
映画制作技術の批評でもある作品。
平野啓一郎さん（小説家）

人間の良さ、らしさとは何なのか。
AI技術が進む現代、近い未来に起きてもおかしくないリアルさを感じ、
感情の尊さを考えさせられる映画でした。
映像のお洒落さや仕掛け、そしてレア・セドゥ好きな私としては、
演技だけでなく、ファッションやヘアメイクも楽しめる魅力的な作品でした。
伊藤千晃さん（歌手・タレント）

何度見ても楽しめた。恋愛映画で時折感じる違和感がなくて、
後味がいいとか、そういうことじゃないところが、凄くよかった。
ドランの映画にもある、深くてたどりつかない、とどきそうで、とどかない感じ。
現実で出会うそういうものに、なんだか近い気がした。
ヒグチユウコさん（画家）

レア・セドゥ×ジョージ・マッケイ×鬼才ベルトラン・ボネロ監督×共同プロデューサーグザヴィエ・ドラン

各界から絶賛の声！

スピリチュアルでスペクタクルな輪廻のダンスムービー！
この作品を観たあとは、来世に遺恨を残さないために
とりあえず会う人全員に親切にしたくなります。
辛酸なめ子さん（漫画家・コラムニスト）

時間とその無常について、劇場を出た後も長く心に残る作品。
2020年代に見た映画の中で、これを超える作品は思いつかない。
ジム・オルークさん（音楽家・プロデューサー）

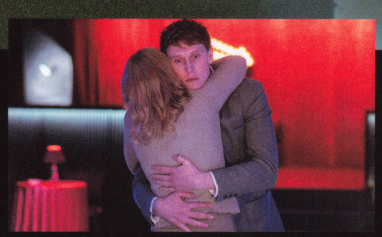
こんなレア・セドゥをスクリーンで観るのは初めてだ！
最高の演技!!　最高の演出！
たまらない…たまらなすぎる！時空を超えた予想も出来ないストーリー展開!!
キャスティング、音楽、衣装、美術、全てが素晴らしく美しい…！
何度でも観たい映画！観終わってもまだ感動が醒めない！
頭が破裂しそうだ…！すごい監督に出会ってしまった…
怖いほどロマンチック！いとおしくるおしい！サイコー！
竹中直人さん（俳優・映画監督）

実にフランス映画らしい不思議な雰囲気の中で、
レア・セドゥの圧倒的魅力がほとばしる。
中野京子さん（作家・ドイツ文学者）

ニューロマンティックバンドのヴィサージの『Fade to Grey』が大音量で流れ、
'80sファッションで盛り上がる「1980」というクラブ。
これはX.ドランの『わたしはロランス』のディスコシーンのパーフェクトな再現！
前世の記憶を巡る本作は、もうひとつわたしたちのドラン体験の記憶にも触れる！
ヴィヴィアン佐藤さん（ドラァグクイーン・アーティスト）

（順不同）

2044年、AI中心の社会では、有意義な仕事を得るには人間は〈感情の消去〉をしなければならなかった。孤独な女性ガブリエルは〈感情の消去〉を決意し、トラウマとなった前世―1910年、2014年へと遡る。それぞれの時代で青年ルイと出会い惹かれていくが、「何かが起きる」という強い恐れに苛まれる…。



けものがいる

監督：ベルトラン・ボネロ『SAINT LAURENT サンローラン』　ヘンリー・ジェイムズ「密林の獣」を自由に翻案　共同プロデューサー：グザヴィエ・ドラン
出演：レア・セドゥ『デューン 砂の惑星 PART2』、ジョージ・マッケイ『1917 命をかけた伝令』、ガスラジー・マランダ『サントメール ある被告』、グザヴィエ・ドラン（声）『マティアス&マキシム』
2023年／フランス・カナダ／仏語・英語／ビスタ／5.1ch／146分／字幕：手束紀子／配給：セテラ・インターナショナル　cetera

kemonogairu.com

4/25（金）ROADSHOW

ムビチケ前売券（オンライン）¥1,600（税込）絶賛発売中